

函館市医師会×未来大×函館高専 包括連携協定に至った経緯について

平成29年5月24日

函館市医師会, 公立はこだて未来大学, 函館工業高等専門学校
包括連携協定調印式 配布資料

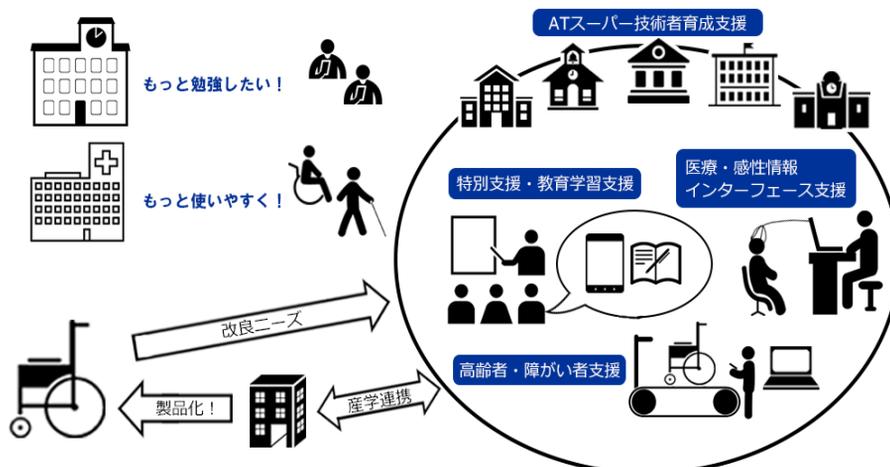
この度の包括連携は、「地域の医療・福祉に役立つ研究を行いたい」という三者の強い思いからはじまりました。この思いを持ちながら、函館市医師会は地域の医療・福祉の現場で、公立はこだて未来大学（以下未来大）はロボティクス分野で、函館工業高等専門学校（以下函館高専）はアシスティブテクノロジー分野でそれぞれ活躍していました。

そのうち、テーマは「地域の在宅でリハビリを頑張る人々をサポートする装置を作りたい」と具体化しました。平成26年に未来大と函館市医師会で、在宅でリハビリを支援する装置の開発に着手することになり、現在も進行しています。



A prototype of finger exercise support system (2015)

この以前から、未来大と函館高専は学术交流協定を結んでおり学生間の交流が行われていました。このことから函館市医師会と未来大で開発している装置に、函館高専が、高齢になられた方や手足の不自由な方々に役立つ工学技術であるアシスティブテクノロジーの観点からアドバイスを与えてくれたことをきっかけに三者間の交流へと発展しました。



アシスティブテクノロジー概略図

<http://www.nagaokaut.ac.jp/j/annai/gic/department/assistive.html>より引用

三者に所属する職員や学生が、医療、システム情報科学、工学にそれぞれ関心を持ち、関連研究が広がっています。この度の包括連携協定により、各分野の垣根を越えた交流を活発にし、地域の医療・福祉の発展と人材の育成を担って行くことができればと考えております。